

畑田地区では、「畑田地区ってどんなところ？-地域の魅力と課題を見つけよう！-」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回（第1回は、令和5年10月3日（火）、第2回は令和5年11月6日（月）に実施）のワークショップを実施しています。令和5年12月7（木）に開催した第3回のワークショップでは、第2回のワークショップに引き続き、4つのグループに分かれて2つのワークを行いました。



第3回 実施概要

日 時：2023.12.7（木）
19:00～21:00

会 場：畑田コミュニティセンター
参加者数：13人

プログラム

- 1：前回の振り返り
- 2：協議会について
- 3：テーマの確認とアイスブレイク
- 4：ワーク①：前回出たアイデアをふまえて、具体的にしていこうアイデアを考えよう！
- 5：具体化するアイデアの発表
- 6：ワーク②：アイデアを実現するためのワークシートをつくろう
- 7：グループ発表（全体共有）
- 8：閉会



ワーク 1 前回出たアイデアをふまえて、具体的にしていこうアイデアを考えよう！

2回目の WS から分類していた下記の4つのテーマで、それぞれどのようなアイデアを具体的にやっていきたいのか、意見交換を行いました。各グループでWSの2回目に出た意見も踏まえながら、テーマに関するアイデアや、その中からさらに具体的にしていきたいことなどを共有しました。

	テーマ①	テーマ②	テーマ③	テーマ④
テーマ	若い人が参加しやすい組織づくり	魅力ある行事等の企画・実施	みんなで交流する場・機会の創出	安全・安心な地域をつくる
具体的にしていこうアイデア	・若い人の話をきいてみよう！	・ポッチャの普及と拡大を目指そう！ ・スポーツ以外でイベントを実施しよう！	・ウォークラリーを実施しよう！	・情報共有ができるプラットフォームをつくろう！

ワーク 2 アイデアを実現するためのワークシートをつくろう

ワーク2では、ワーク1で出した、具体的にしていけるアイデアの実施に向けた準備として、実際に「誰がその取組を行うのか」「最初にまずは何をするか」といったことを考えました。

○各グループの話し合い内容（抜粋）

テーマ	タイトル	活動の目的	具体的な取り組み内容	最初の一步	誰がやる？
若い人が参加しやすい組織づくり	○若い人の話を聞こう！	○まずはどうすれば若い人が来てくれるのかを知る ○若い人の「やりたい」を引き出す ○若い人に自治会の必要さを感じてもらう	○若い人が自然と行ってみたいと思わせるような場をつくる ○負担なく取り組めるように、既存のイベントを変える ○若い人が集まるイベントの実施	○イベントのマニュアル作成を行う ○一つ一つのイベントのゴールや目的を伝える	○若い人が中心に実施し、経験者がバックアップを行う。
魅力ある行事等の企画・実施	○ポッチャの普及・拡大	○畑田といえば、「○○」といった、イメージを定着させる	○既存取組の強化 ・ポッチャ大会を年2回開催 ・毎週日曜日の公民館講座の参加人数を増やす ・大会参加チームを増やす ○新規取組の実施 ・授業でポッチャを教えてもらう	○ポッチャ大会を6月開催に加えて2月か3月に追加で実施する ・親子チームを結成して参加してもらう ・小学校にチラシをまく	
	○スポーツ以外で来年やりたいイベントの実施		○親子での映画観賞会 ○ウォークラリー ○山野草ハイキングの復活		
	○ふれあいまつりの負担軽減		○ふれあいまつりは、10月の10時から14時に開催日時を変更		
みんなで交流する場・機会の創出	○ウォークラリーを実施しよう！	○はじめての若い世代・子どもと地域が関わるきっかけをつくる ○畑田を知るきっかけをつくる	○お年寄りの方にスポットにまつわる話をしてもらい、各スポットでスタンプをもらう ○各スポットで記念撮影を行う	○スケジュールとしては、春か秋、7月頭か6月の地域活動が少ない時期に実施	○青健協+やりたい人 ○老若男女問わず、親子でも楽しめるイベントにする
災害に強い地域をつくる	○プラットフォームをつくって情報を共有しよう！	○情報を吸い上げて、安全・安心な地域をつくる ○人と人とのつながりをつくる	○道路の危険箇所の収集 ○犯罪情報・動物情報の収集 ○既存のプラットフォームの情報を伝える	○協議会で発議しよう！	○防犯、防災は既存団体が実施する！ ○道路やゴミなど、その他のテーマの受け先をどうする？ ○歴任の人は対応できる新米の人のサポートをしよう！

全3回のワークショップにご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

地域の中でも小さなアイデアを出し合ってよりよい活動づくり・新たな場づくりにつなげていきましょう！